

いけだ町 議会だより

No.
123

2007. 2



◀ 静かな夜明を待つ養基神社（H19年 元旦）



▲ 朝日に映える養基神社の大鳥居（右）
と、郡一の歴史を持つ拝殿（左）

主 な 内 容

平成18年12月議会	2
一般質問	3~6
常任委員会レポート	7~8
特別委員会レポート	9
編集後記	10

みんなで乗って残そう近鉄養老線
～電車に乗って生まれる心のゆとり～

第4回 定例会

18年度補正予算案4件。条例制定1件。条例改正案4件。規約変更9件。陳情書1件審議。いずれも賛成多数で可決・承認

12月6日
▼
12月15日

一般会計補正予算の内容

歳入・歳出予算総額 73億8,129万円

18年度当初予算 73億7,843万円の0.4%微増

歳入

(単位：千円)

科 目	補 正 額
分担金および負担金	971
国庫支出金	3,478
県支出金	16,175
諸 収 入	1,436
町 債	△ 19,200
計	2,860

歳出

(単位：千円)

科 目	補 正 額
議 会 費	△ 35
総 務 費	△ 9,740
民 生 費	42,887
衛 生 費	△ 16,515
農 林 水 産 費	1,835
商 工 費	△ 767
土 木 費	△ 5,613
消 防 費	266
教 育 費	△ 3,540
公 債 費	1,451
予 備 費	△ 7,369
計	2,860

■ 歳入の主なもの ■

◆ 公私立保育園の保育料の見込と児童クラブ入所児童増による負担金
97万円追加

◆ 私立保育園児童数増による国庫支出金3,477万円追加
◆ 民生費負担金分の県支出金651万円追加
◆ 農業水産補助金県支出金835万円追加

■ 歳出の主なもの ■

◆ 高齢者医療広域連合負担分47万円追加
◆ 福祉医療費、老人乳幼児扶助分1519万円追加
◆ 園児増による福祉総務費374万円追加
◆ 児童福祉運営費1259万円追加
◆ 可燃物処理体系の改善より委託料2231万円減額

●池田温泉に流水プールと母子家庭用の町営住宅建設を

●農地・水環境保全対策は万全か

安田正治
議員



Q 二期目をめざす町長の抱負は。

A 住みたい町づくりを
目指しての、少子化

対策・(仮)梅谷トンネルの早期開通・道の駅開設による温泉の活性化・企業誘致・治山治水・組織のスリム化と行政改革・近鉄の存続等を推進していく。

Q 「魅力ある町づくりの為に」二つの提案をした。その一として池

田温泉に屋内流水プールの併設ができないか。近隣の町では、既に町民プールがあり、けっこう繁盛しているが、プールは夏場のみの利用で経済的に考える時、

年中利用出来る温泉利用は大変有効でもあり、また温泉の活性化、話題性もあると思うが。

次に母子家庭用の町営住宅を建設し提供してはどうか。現在の社会環境の変化

による独身者、母子家庭が増えて来た。経済的に大変厳しい家庭が多い。そこで、

安価で安心な町営住宅の希望も多く寄せられており、早々に建設促進されるよう提案する。

A 温泉プールは、湯量確保、また、経済性から考えて困難。母子家庭用住宅は、既存の住宅に優先入居しており、今後、その対象者に配慮しての建て

替えを検討したい。

Q 農地・水環境保全対策の状況は。

A 宮地区の他、六地区が参加。面積は5

81haで全耕地面積の53%。支援額は2千4百万円で、町負担は6百万円。地域の環境は、それぞれ地域全員で守るような組織づくりを図りながら万全を期している。

一般質問

窪田弘子
議員

- 旧川口屋前の変則交差点の解消に町長の英断を
- 道の駅建設には一考を
- 図書館で一層の情報開示を



このままで良いのか。横断歩道のない交差点。

4方向とも待ち時間が長い。これは東から国道417号へ入る所。

旧川口屋前は変則交差点なので待ち時間が長く、毎朝渋滞。

Q 東と西からは青信号20秒、赤90秒。南北は国道で優先なのに青と赤約半々。西にバローもでき、交通量は増えるばかりなのに横断歩道がないので自転車・歩行者は国道を渡れない。旧川口屋が空いている今、道路用地を買い、歩道も作って横断歩道のある十字交差点にするよう努力されたい。この東西線は町の

都市計画道路で、池田小の北等すでに点々と歩道があり、それをつなぐ必要がありその第一歩となる。「時ぞ今。」状況は不可能ではない。町長の英断を。

A 難しいが十分検討したい。

Q ハザードマップでは池田温泉は、土石流危険区域にある。

A 町が取得した温泉南東の2万㎡は安全地帯だ。道の駅等何も建てず、充分な駐車場と散策できる

「いいいの場」とし、いざという時の為、または、温泉改築用地に残しておくべき。道の駅事業はまだ157万円です。立地検討調査をしただけ。国道417号は1日交通量1万台余

だが、温泉の所は(仮)梅谷トンネル開通後でも予測は4500台に過ぎない。それに道の駅はサービスする所だからどこも赤字。それより温泉本体に投資すべきだ。新館南で道路は1.5m下がり入口との高低差は4mとなる。エスカレーターを設置したら



手前の道路が、信号がついて1.5m下がる。歩いて登るのは大変。

どうか。

A よく考えて進める。

Q 図書館へ予算書・決算書・入札執行一覧

表・審議会の成果資料等並べられたい。

A 検討し、出せる物は出す。

● 議会と住民と行政の役割を明確に ● 将来にわたる環境問題への方針の 確立を (プラスチック包装容器のリサイクル推進)

倉地幸子
議員

住民自治基本条例を視野に入れてのまちづくりを

Q 地方分権に伴い各地で議会改革が進んでいる。民意を真に反映する議会運営がされているのか疑問。

住民が議会で意思を反映する仕組みが必要。区の単位は、10数世帯から約700世帯とばらつきがあり、住民自治を行うにふさわしい構成の自治会への脱皮が必要。

区長に行政からの依頼が集中する負担も軽減されたい。が、町長の後援会活動を行政ラインを使って行うことは住民自治を目指す上では非常に残念。はじめが必要。議会と行政と住民の役割を再確認する意味で、基本条例の制定を提案したい。

A 中央集権化の時代から、地域自らが考えてまちづくりをする時代である。これまでのように行政がなんでもやるのではなく、住民の皆さんと情報を共有しながら協働を目指す取り組みが今後の行政運営の基本と考える。その機運の高まりの中で条例の必要性が認識されるのを期待する。開かれた議会を望む。

石油資源の枯渇と地球温暖化防止は世界のテーマ

Q 住民課の指導の元にリサイクルセンターと各地区持ち寄り回収が効果をあげて郡内では「古紙」と「繊維類」のリサイクル量は突出している。ペットボトルとトレイ以外の、Pマークその他のプラスチックのリサイクルが行われていない。

月1回のゴミ収集場に入りきれない量である。燃やさず再資源化を！ 県内42市町村中、7割以上の自治体がりサイクルしている。

A 来年、モデル地区をつくり、廃プラの収集分別について資源としての有効活用の理解を得たい。センターも将来は数ヶ所、設置が必要かと考えている。

H17年度揖斐郡他町との比較

	池田	揖斐川	大野
古紙	1182t	596t	146t
繊維類	139t	38t	19t
ペットボトル	73t	24t	23t
プラ容器包装類	—	114t	100t



リサイクルセンター



持ち寄り回収



月1回・回収のその他の燃えるゴミ



家庭から出るPマークのプラスチック包装

一般質問

●八幡児童館は小学校立替計画の中で検討を ●公共施設にAEDを増設せよ

野網義一
議員

A 使った量で負担してもらおうのが本来ではあるが、池田町の経過もあり将来的に考えたい。家屋間距

のように。第三期計画には間に合うように。

Q 下水道料金の見直しは、少人数家庭が割高にならないよう改定すべき。下水道会計の改善は歳入だけでなく、歳出の委託料等の見直しも必要。家屋間距離の導入は遅くとも第三期計画には間に合うように。

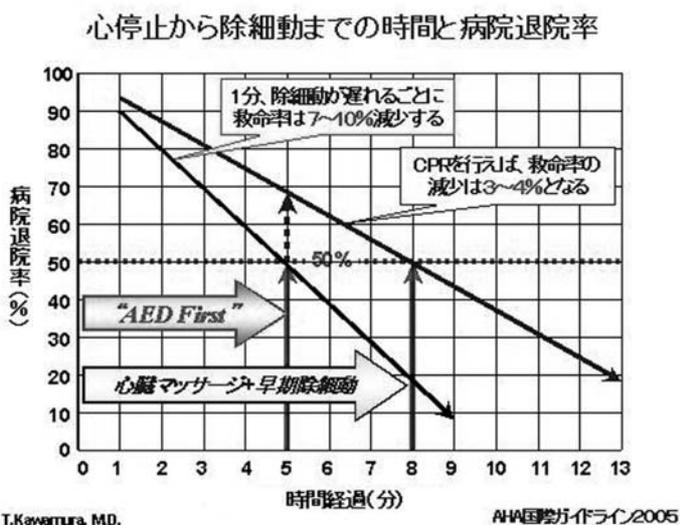
A 八幡小学校建替えの検討委員会を早急に立ち上げて構想的なことを踏まえて位置決定をしたい。

Q 八幡児童館の建設は八幡小学校の建設構想の一環として取り組まれている。

A 6月に総合体育館に設置した。19年度に岐阜放送の社会福祉事業団から一台寄付される。助成制度を利用しながら普及させたい。年2回取扱講習会を開催している。

Q 公共施設にAED(自体外式除細動器)の設置を増やされたい。また、心肺蘇生法と合わせて講習会の開催を。

A 第三期下水道認可の計画時点には導入したい。



■ AED の使用方法

- ①AEDの電源を入れる。
- ②電極パッドを傷病者の胸部に心臓を挟み込むように装着する。
※電極パッドには、次の貼り付け位置が絵で表示してある。
・右前胸部(鎖骨のすぐ下)
・左側胸部
- ③AEDから発せられる音声指示に従って操作を行う。
- ④AEDが自動解析をしている間、誰も傷病者に触れないように注意を喚起する。
- ⑤AEDが除細動適応の音声指示を行った場合には、通電ボタンを押す。この際も、誰も傷病者に触れないように注意を喚起し、安全確認を行う。
その後もAEDからの音声指示に従って行動する。

Q 近鉄利用促進や公共施設を巡回するよう温泉バスのルートやダイヤの検討を進めたい。

A 開通時期は21年度に一年早まりそう。工事名は片山梅谷工区となっているがトンネルの名称は決まっていない。公募方式とか検討し進めたい。

Q 梅谷トンネルの開通見通しはどうか。トンネルの名称について公募してはどうか。

A 見直しを。温泉バス停留所を19年1月より池田町役場とコメリを追加。月曜日の午後も運行する計画。今後も公共施設や病院等も追加しながら運行したい。

Q 高畑遺跡や南野古墳の貴重な遺物(県所有)の町民への公開の見通しは。

A 譲渡について意向の打診があり、町はいつでも受けると返事してあるが、県の意向がまとまっていない。

Q 町としては譲渡されたい公開したい。

A 町としては譲渡されたい公開したい。



総務委員会

12月13日開催

付託案件

- 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 副町長の定数を定める条例
- 特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例
- 大垣消防組合規約の変更
- 揖斐郡養基小学校、養基保育所組合規約の変更
- 揖斐川水防事務組合規約の変更
- 揖斐広域連合規約の変更
- 西濃環境整備組合規約の変更
- 大垣衛生施設組合規約の変更
- 足打合林野組合規約の変更
- 檜原合林野組合規約の変更
- 一般会計補正予算

主な審査の内容

- Q** 地方自治法の改正により、副町長を置く事が出来るが、どうするか。
- A** いずれは置くような形になると思うが、いままじ状況をしながら判断したい。4月から置く考えはない。

Q 会議に出る場合、副町長と部長では発言の受け取り方に差があるのではないか。

A 会議の場で、同じ発言をしても副町長の発言の方が若干重みがあるのは否めない。今回の改正に伴って、十分配慮しながら対応したい。

Q 副町長を選ぶ場合、外部から入れるのか内部から選ぶのか。

A 地域のことがよくわかる部分が必要なら内部。できたら内部からと考えている。

Q 庁舎内の清掃はどうなっているのか。

A 委託業者をお願いしている。庁舎外は、職員全員で月曜日8時より、それぞれ課ごとに場所を割当て行っている。今後、委託業者に指示しながら改善したい。

Q 人件費の減額があったが、今後このような形で抑えていくのか。

A 4月より公務員の給与改正がなされ、今後伸びを抑える仕組で改革の一環として実施した。

民生文教委員会

12月7日開催

付託案件

- 県後期高齢者医療広域連合の設置
- 町廃棄物の処理及清掃に関する条例の一部を改正
- 国民健康保険税条例の一部改正
- 平成18年度補正予算
- ・一般会計
- 温知小学校南側歩道兼通学路拡幅を求める陳情

主な審査の内容

- Q** 後期高齢者医療制度とは。
- A** 広域の75才以上で、県単位の組合とし平成20年4月より開始される。町の老人保健対象者は約2500名。介護保険は、郡単位で変わらず、高額医療の多い75才以上を一つにする。
- Q** 廃棄物処理の改正の本身は、可燃性粗大ごみのうち、生活

系に伴う粗大ごみ、布団、じゅうたん、瓦れき類、瓦、コンクリートの搬入と有料化実施。(4月1日より実施)

Q 国民健康保険税の負担増は必要か。

A 毎年増加する医療費の伸びは大きく、過去三年間増税せず据え置いているが、この間基金を取り崩しており、平成18年度見込みは医療分だけでも112・4%増が見込まれる。19年度保険税を平均して113・8%増で補う。

Q 温知小通学路拡幅陳情の件。

A 主旨はよく理解できるが充分検討し総合的な計画に入れるというところもあり、内容的には継続審議とし、陳情書は採択した。

建設産業委員会

12月11日開催

付託案件

- ◎平成18年度池田町土木土地改良事業の経費の分担金徴収について
- ◎平成18年度補正予算について
- 一、一般会計
 - 一、農業集落排水事業特別会計
 - 一、公共下水道事業特別会計
 - 一、温泉施設特別会計

主な審査の内容

- Q** 片山地内で、農免道路との交差点付近が、降雪や凍結で滑り、苦勞しているが。
- A** グルーピング工法（道路を削って線を入れる）で、雨水の滞留及び凍結を防止する。
- Q** 農道整備事業の、施工優先順序はどう決めるのか。
- A** 農振農用地区内において、区長より要望があり、県の補助採

択基準に適合している箇所ので、必要性により、県と協議して決める。

Q 粕川大橋の、維持管理に伴う揖斐川町の負担方法はどうかっているか。

A 今回は補助金が1/2であり、補助金の残りを揖斐川町と折半する。

Q 指定されている通学路は、全部除雪されるのか。

A 学校教育課より指定を受けた所は行く。重機の入らないところは、地域の方の協力を得て行く。

Q 池田小付近の、東川における猟銃の発砲事件についての対処はどうなっているか。

A 警察の捜査で犯人は見つかった。池田町の人ではない。狩猟者の常識の欠如であり、郡の猟友会へ会員のモラルの徹底を要

第2回 臨時会 10月25日

南部公園第2期工事 可決 (6,447万円)



工事中の現場

望した。

Q J R東海が開催した、ウォーキングについてコースの選択ができないか。

A 今回は、千三百人参加で円興寺トンネル北側でチラシを配り出迎た。霞間ヶ溪ではききょう太鼓を楽しんでもらい、池野駅では湯茶のサービスをした。J

R東海の考えにもよるので要望は伝えたい。

Q 池田温泉本館・新館の臨時職員の賃金増額の理由は何か。

A 当初予算では、昼間770円、夜間850円の単価を、昼間830円、夜間910円の単価に引き上げた。

下水道特別委員会

12月8日開催

平成18年度下水道工事計画進捗状況について事業の説明を受けた。

それぞれの工区で、参加業者は何社であり、その請負率は何%であったか。

第1工区は指名業者は8社で請負率は71・3%。
第2工区は6社で85・91%。
第3工区は7社で82・66%。
第4工区は7社で83・78%。
第5工区は7社で82・16%。
第6工区は7社で85・34%。
第7工区は7社で80・11%であった。

電子入札制度はどのようになっているか。

9月までに電子入札14件と紙入札23件という事で大きな工事を発注している。メリットとしては、透明性と業務改革を経て、コスト削減となり、トータルで紙入札に比較して15%の削減が出来ると言われている。

業者が指名を受ける時に、申請に基づいて資格審査をと思うが、この工事のように、三千万円位の工事の場合、町内の業者は何社ぐらい指名が受けられるか。

大体、三千万円程度の工事に対する町内の業者は7〜8社程度と考えている。

農業集落排水・公共下水道事業の情報発信について、下水道事業の効率的な整備について説明を受けた。

本日の資料は広報の何月号に載るのか。使用料算定を届出制に変更するという改定日が平成19年4月1日であって、料金の値上げの改定日ではないのか。

広報1月号で町民の皆さんへお知らせし、2月号で今後の見通しを載せ、3月議会で出来たらまとめたい。料金の見直しは、平成19年度の早いうちにしたいと考えている。

〈要望として〉

町内業者の育成を願いたい。
町民に出される資料はわかりやすく、標準家庭が一軒当たり実際にかかる費用等ものせられたい。

以上、委員会として、下水道工事計画・進捗状況について、農業集落排水・公共下水道事業の情報発信については報告を了とし、下水道事業の効率的な整備については、継続的に審議していく事になった。

行財政改革特別委員会

12月12日開催

手数料、使用料について

池田町手数料条例と他団体との比較、池田町各施設使用料と他団体との比較表により、既に平成12年4月より地方分権一括法施行に伴い機関委任事務が廃止され、地方公共団体で法令に反しない限り独自の条例で手数料制定が可能となった。そこで池田町の手数料・使用料の現状と、類似団体、近隣市町の資料と比較し料金設定の協議を願う。その結果を踏まえ行政改革推進委員会の中で方向、金額等協議していきたいとの説明を受けた。

手数料の比較をすると多少の差があるが、町として近い将来料金の見直しをする考えがあるのか。

具体的に改定というのではなく、各市町がそれぞれの料金でやっている。将来、町の状況で料金の変更をする場合、条例の改正が可能である。という資料提出をした。

届出のない不法広告が出た場合、これはどこが責任をもって対応するのか。

大変むずかしいことだが、基本的には管理は県の広告物条例に基づいて規制されている。町としては、不

法広告が出ないよう努力したい。

広告板を立てる場合、交通事故等おきる危険な場所には立ててはならない。規制は出来ているのか。

基本的には、町が都市計画を受け入れることによって広告物の規制が入ってきた。県の屋外広告物条例が適用される。

使用料について

地区公民館を利用する場合、公的会議か、その他の会議かの判断基準と、時間延長となった時の対応はどうか。

多面に波及することと思うが使用料の運用ということで資料提供した。この条例を基本に運用している。減免は町の主催する行事、町の後援、共催する行事。減額は各種団体が利用する場合。時間運用については、基本線を崩さない程度に柔軟な運用をしている。

将来的には指定管理も考えていきたいが何れにしても、24時間使用は出来ない公共施設だということをも前提によく検討したい。以上説明を了とした。



表紙写真の説明

揖斐郡一の古社

養基神社

田中宇野中にあり、祭神は市杵島姫命である。

由緒、延喜式神明式によれば美濃国三九座中池田郡一座(小)養基神社(美濃明細記)

美濃神明記に従五位下八岐明神とあり、続日本後記に嘉祥二(八四九)年七月癸酉美濃国池田郡養基神預(宮社)緑有(靈験)也と記養される揖斐郡一の古社である。

天正年中(一六世紀後半)織田信長の兵火にかかり炎上したが、後年再建、大正三(一九一四)年以降、春日神社、稻荷神社、八幡神社を遷座合祀する。(池田町史通史編より)

左写真の鬼瓦は、当神社の拝殿を77年間風雪に耐え、守護されたと、氏子一同より感謝され、保存されている。(大正13年〜平成13年)



平成18年度の議会だよりの表紙の写真は、伸びゆく池田のまちづくりの施策の中に、「温故知新」の謂われが活かされることを願い、各地区の代表的な題材を掲載させていただきました。

編集後記

平成19年の正月は、殊の外穏やかな、暖かい日々恵まれ、町民各位には、善き新春をお迎えになった事と拝察致しお慶びを申し上げます。

伝われれば幸いです。ご愛読に深く感謝致します。

「光陰矢の如し」と言われ、巡る月日の早さに広報委員一同、今更のように驚いています。私達の拙い議会広報も、実は、委員各々の思い入れがあり、取り組んできたつもりですが、その思いの一つでも町民の皆様には

さて、池田町の今後4年間の町政を再度担うべく、岡崎和夫氏が立候補し、無投票で再任されました。町民各位は、厳しいこの時代の「池田町」の舵取りを、岡崎和夫氏の手堅い行政手腕に託されたのではないかと思います。

今後に期待をこめ「ご当選おめでとう」と申し上げます。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキで印刷しています。